

文化なかの

公民館報
No.165
(通巻 No.697)

豊田公民館

たけうちひろたか

竹内洋岳さん講演会

竹内さんは、世界に14座ある8000mを超える山々を、日本人で初めて完全登頂した登山家です。

10座目の「ガッシャブルムII峰」の登山中、雪崩に遭遇した竹内さん。再起不能の状態になり、背骨をシャフトで支える手術をしたそうです。しかし、助けてくれた人たちへの恩返しのために、翌年この山に再挑戦し、登頂を果たします。

そして、2012年5月には、14座目の「ダウラギリ」の登頂を成功し、日本人初の「14サミッター」となりました。14年からは、未踏峰の「マウンフラン」に2度挑戦され、次の山へ強い気持ちを向けていました。そんな竹内さんは「あきらめない心」「挑戦し続けること」を強く語っていました。

▶▼講演会の様子



ふるさととの歴史

小沼村の開発にまつわる諸問題

小沼村は千曲川の支川、篠井川流域に位置する。延徳田んぼを洪水の際、千曲川の水開き場とみなしていた川西地域と対立しつつも、もっぱら自普請でそれと戦ってきた。

慶応元年（1865年）5月の大洪水で全村水没。その際は、村をあげて移住する計画に着手されたが、千曲川の瀬直しの話を持ち上がり立ち消えになった。小沼村はこのような水害常襲地であるがため、開発も遅れた。

「小沼」という地名の由来は、開発農民が生まれ在所の名、小沼（北佐久郡御代田町）を忘れないためだという。

永禄4年（1561）、

小沼（御代田町）から草分け百姓7人衆が集団移住し、当時の開発にあたった。天正年間（1573～92）には、大熊郷として一村にまとまっていた。

文禄年間（1592～95）から始まる大閣検地による「村切り」が行われ、村域が確定し、近世村が成立してくるのである。

しかし、場所によっては錯綜した複雑な関係を掃き、村域をめぐる紛争も引き起こった。小沼村も大熊村からの分村形式をとり、北大熊村を合わせ村入会地である野地や（葎）野秣場を村の耕地の中に残した。

小沼村は馬草、刈敷き（田ごやし）などの採草地で、村々にとって必要欠くべからざる土地であった。

今月の伝言板

※受講には申し込みが必要です。下記の各公民館連絡先までご連絡ください。

▶ 公民館
ホームページ



中央公民館

シニア大学 公開講座

初笑い新春落語

日時 1月10日(木) 午後1時30分～3時
内容 中野市落語研究会による落語を楽しみましょう。
※申し込み不要

脳トレ&健康体操講座

日時 1月16日～2月20日(毎週水曜日) 午後2時～3時30分
内容 簡単な脳トレと適度な運動
定員 30人 市内在住又は在勤の人

ポーセリン・ペインティング講座

日時 1月23日(水) 午後7時～9時
内容 下絵付きの食器に色を塗ります。材料費は1,000円。完成品は後日の受け渡しになります。
定員 12人 市内在住又は在勤の人

豊田公民館

伝統行事ものづくり体験

日時 1月5日(土) 【前半】午前10時～11時 【後半】午前11時～12時
会場 豊田温泉公園もみじ荘
定員 各回20人(材料費100円)
※12月25日(火)までに申し込みください

北部公民館

みんないきいき! 北部生きがい大学

期日 ①12月11日、②12月18日、③2019年1月8日(全日火曜日)
時間 午後1時30分～3時
内容 ①映画鑑賞、②落語鑑賞、③演奏会(ニューイヤーコンサート)
定員 40人程度 中高年世代の人

西部公民館

シニア大学

期日 ①12月14日、②12月21日、③2019年1月11日、④1月18日(全日金曜日)
時間 午後1時30分～3時
内容 ①心を癒す音楽講座、②管理栄養士、歯科衛生士からのお話、③津軽三味線愛好会の演奏、④中野市落語研究会の落語
定員 40人(シニア世代の人)

地域づくり講座

やしょうまづくり

日時 1月19日(土) 午前9時30分～正午
内容 北信地域の伝統食「やしょうま」を作ります。材料費は250円です

生きがいづくり講座

あんこクリームのカップケーキ講座

日時 1月23日(水) 午後2時～3時30分
内容 新しい和のスイーツ「あんフラワー」を作ります。材料費1,000円
※1月15日(火)までに申し込みください

2019年度の成人式は、

5月4日(みどりの日)に中野市市民会館を会場に開催する予定です。

対象者は1998年4月2日～1999年4月1日生まれの人です。

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎(22)2691 ■北部 ☎(26)0677 ■西部 ☎(23)1024 ■豊田 ☎(38)2922